こだま

発　行
君津東地区社会福祉協議会　広報委員会
君津市社会福祉協議会
（57）2250

桜が満開、花見会を満喫

75歳以上の一人暮らしの高齢者41名が参加して東地区社会福祉協議会の花見会が本年3月31日に行われました。

今年は開催場所を、お座敷スタイルの偕楽園からテーブルと椅子の洋式の八重原公民館に移し、車椅子での参加も可能になりました。

当日は春らしい良いお天気と満開の桜に恵まれ、美味しいお弁当・お茶菓子を食べながらNPO法人「ナルクかずさ」の楽しい演芸を見て、歌声喫茶リクエストアワーでは昔懐かしい曲をみんなで歌い、隣同士でおしゃべりも楽しみ、時のたつのも忘れるほどの盛り上がりをみせました。

このような催しが、石崎会長が挨拶でおっしゃられた「健康寿命の上昇」につながる事を期待しましょう。

お帰りの際は、桜吹雪に見送られ、今年の花見会が無事に終わりました。

受付の様子

演芸担当、ナルクかずさの皆さん

会場の様子

お帰りの様子

【こだま53号の主な記事】

①事業紹介：「桜が満開、花見会を満喫」 …… P1
②ボランティア奮闘、平成29年度の活動 …… P2
③平成30年度の総会を開催 …… P3
④平成30年度の事業計画と予算の概要 …… P4

53号

▶ボランティア奮闘、平成29年度の活動

事業名	実施日	実施内容	実績
①敬老会	10月7日	八重原公民館で満90歳と結婚50周年の方々及び一人暮らしの高齢者を招いて長寿を祝った	満90歳12名、結婚50周年7組等約300名参加
②自主財源確保	10月21日	理事その他の協力者から出されたバザー用品を君津市福祉祭りで販売して自主財源を確保した	12名で販売し、7万円の財源を確保
③小学生からのお便り運動	8月と12月	八重原小学校の6年生に暑中見舞いと年賀状を書いてもらい、一人暮らしの高齢者に出した	暑中見舞い50枚、年賀状50枚
④友愛訪問 ⑤愛の見守り	2月9日	民生委員25名の協力を得て、寝たきりの高齢者にバスタオルを、一人暮らしの高齢者にタオルを上げた	延べ105名に実施
⑥生きがい支援	3月31日	75歳以上の一人暮らしの高齢者（希望者）を招いて、八重原公民館で花見会を行った	41名を招待
⑦研修会	1月21日～22日	茨城県東海～日立方面にバスで研修・親睦旅行に出かけて、役員その他関係者の慰労と結束を図った	21名が参加（自費で参加）
⑧広報活動	7月と11月	広報誌「こだま51号」を7月に、「52号」を11月に作り、自治会を通じて各戸に配布し、活動状況を知らせた	51号と52号で延べ9000部を配布
⑨食事サービス	毎月2回 年10回	毎月食事を作るボランティアと食事を配る民生委員の協力で、75歳以上の一人暮らしの希望者に食事を届けた	延べ1185食を作って配布
⑩生き生きサロン	年13回	75歳以上の一人暮らしの希望者を集め、サロンを開いた	延べ150名が参加

②自主財源確保、バザーの様子

⑦研修会でのスナップ

平成30年度の総会を開催

君津東地区社会福祉協議会の総会が4月22日(日)に八重原公民館で開催されました。

冒頭に石﨑会長から「昨年の総会で決定した事業計画と予算に基づいて活動してきた。理事及び関係者の皆さんはボランティアとしてしっかり働いてくれました。その結果を報告すると共に次年度の事業計画案と予算案を提示するのでご審議頂きたい」という趣旨の挨拶があり、ご来賓の君津市社会福祉協議会の山中会長からは「東地区は君津市で最初にできた地区の社会福祉協議会で8地区のリーダー的役割を果たしており、今後も期待している」という趣旨のご挨拶を頂きました。

会議は、規約に基づいて石﨑会長が議長となり、平成29年度の事業報告と決算報告の審議が行われ、出席者の賛成多数で報告通り承認されました。

次に平成30年度の事業計画と予算が提案されて審議の結果、広報誌「こだま」の各戸配布の廃止、敬老会の案内状の出し方や準備に対する質疑応答があったものの原案通り承認されました。

平成30年度の事業計画と予算の概要は次のページの表に示す通りです。

主催者代表挨拶（石﨑会長）

会場の様子

ご来賓挨拶
（君津市社会福祉協議会　山中会長）

▶平成30年度　東地区社会福祉協議会の事業計画

事　業　名	内　　容
①敬老会事業	東地区敬老会を10月6日（土）に八重原公民館で実施。満90歳・結婚50周年を迎えられた方々に記念品を贈呈して祝福する。
②自主財源確保事業	君津市の福祉祭りに参加してバザー用品を販売し、自主財源を得る。平成30年10月中旬に君津市保健福祉センターで実施する。
③小学生からのお便り運動	小学校児童より一人暮らしの高齢者へ暑中見舞い、年賀状を送る。
④友愛訪問事業	民生委員の協力を得て介護が必要な寝たきりの高齢者に対して友愛訪問を行う。
⑤愛の見守り運動	民生委員の協力を得て一人暮らしの高齢者に対して近隣居住者による見守りを行う。
⑥生きがい支援事業	民生委員の協力を得て75歳以上の一人暮らしの高齢者（希望者）を招き、花見会を行う。
⑦研修会	食事サービス関係者の研修と理事その他の研修を行う。
⑧広報活動	広報誌「こだま」を年2回発行して活動状況を東地区の方々に知らせる。
⑨食事サービス事業	7月と8月を除いて月2回、調理ボランティアがお弁当を作り、民生委員の協力を得て一人暮らしの高齢者（75歳以上の希望者）へ届ける。調理場所は3月～6月が八重原公民館、9月～2月が周南公民館とする。
⑩ふれあい生き生きサロン	月1回程度、生き生きサロンを開催する。開催日と内容はサロン参加者に決めてもらう。

予算総額は162万9千円、収入の大半は君津市の助成金で134万3千円であり、この助成金には皆様の年会費500円と福祉活動の趣旨に賛同される方々の賛助会費が含まれている。又、支出は敬老会52万円、食事サービス事業44万円、広報活動21万円で大部分を占める。

敬老会のご案内

本年度の敬老会は10月6日（土）八重原公民館で開催します。

長年にわたり社会に貢献された高齢者の皆様を敬愛し、地域をあげて長寿をお祝いしたいと思います。

編集後記

花見会の写真を従来の演芸主体から会の流れに変更し、総会では29年度の活動実績全体を載せて、30年度は事業計画に予算の概要を加えてみました。